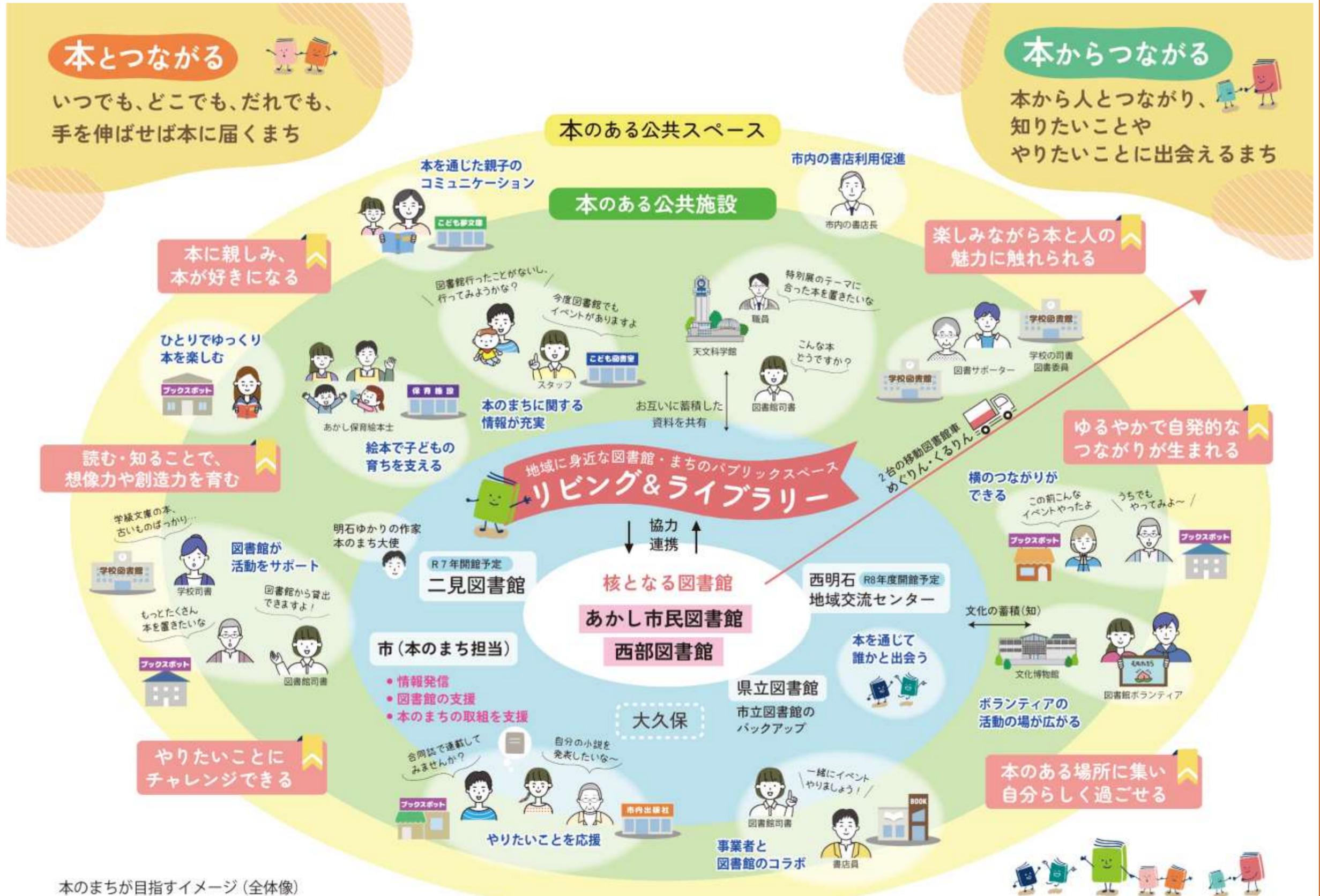


明石市本のまちづくりビジョン 概要版 (案)

1 本のまちが目指すイメージ(全体像)

これからの本のまち明石では、「本とつながる」「本からつながる」の2つの大きな方向性と、6つの大切にしたいことを踏まえて、市立図書館も含めた市内にある本のある場所やそこに携わる人たちが主体となり、つながりや取組がひろがっていくことを目指します



2 本のまちビジョンの位置づけ

本のまちビジョンは「あかしSDGs推進計画」に結びついたビジョンで、「あかしSDGs(前期・後期)戦略計画」に定める「本のまちの推進」の取組について、将来的な理想の姿や、より具体的な方向性」を示すものです。

このビジョンに基づく本のまち明石の取組は、明石市の他の部署の取組や、「あかし教育プラン」、「明石市子ども・子育て支援事業計画」、「あかし障害福祉推進計画」、「あかしジェンダー平等推進計画」、「明石文化芸術創生基本計画」、「明石市生涯学習ビジョン」、「明石市協働のまちづくり推進条例」といった他の計画等と一体的に推進していきます。(右図参照)

また、将来的な市内の状況や社会の変化に応じて本のまちビジョンも見直していきます。



3 本のまち推進のねらい

本のまちを推進することで、さまざまなところで本を手にとることができ、子どもから大人までみんなが本に親しめるようになるだけでなく、図書館をはじめとした「本のある場所」で、本を通じた出会いや交流が生まれます。

本や人と出会い、知らないことや自分と違う考え方に触れることで育まれる想像力は、明石が目指す「やさしさのあふれるまち」に欠かせないものです。人は想像力を持つことで、知らないことを受け入れ、他者を思いやり、人や社会の多様なあり方を尊重できるようになります。本のまちの推進を通じて**明石のまち全体にやさしさを広げ、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち明石を目指します。**

市は、これからの本のまち明石をよりよいものにするため、公立図書館や文化施設、学校図書館、子ども夢文庫、ブックスポット、そして書店や地元出版社など、**本に関わる全ての場所や人々と一緒に本のまちづくりを進めていきたい**と考えています。その結果、**本に関わる場所や人、活動同士が共振・共創することで、次々に新たな取組が広がっていくことにも期待**します。



4 本のまち推進の方向性と目指すイメージ

市ではこれまで、市民の方々が「本とつながる」ための取組を主に行ってきましたが、これからはそれに加えて、市民の方々が本を通じて人とつながる、さまざまな情報を見つける、やりたいことを見つけ実現して欲しいといった、「本からつながる」ための取組も積極的に進めたいと考えています。

このことから、「いつでも、どこでも、だれでも手を伸ばせば本に届くまち(本とつながる)」、「本から人とつながり、知りたいことややりたいことに出会えるまち(本からつながる)」の2つを、これからの本のまち推進の柱(方向性)にすることとしました(右図参照)。



また本のまちづくりに取り組むにあたり、以下の6つを目指すイメージとしました。このイメージは市の取組だけでなく明石全体、すなわち**本に関わる全ての人や場所、活動にも広がってほしい**と思っています。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ①本に親しみ本が好きになる | ④ゆるやかで自発的なつながりが生まれる |
| ②本のある場所に集い自分らしく過ごせる | ⑤読む・知ることによって想像力や創造力を育む |
| ③楽しみながら本や人の魅力に触れられる | ⑥やりたいことにチャレンジできる |

5 市が取り組むこと

市も本のまちづくりに関わる主体の一つとして、さまざまなことに取り組んでいきます。

